

令和元年度(2019年度)

管理事業名	青少年クリエイティブセンター事業				総合計画の体系	大綱 4 政策 3 施策 1	子育て・学び 青少年がすこやかに育つまちづくり 青少年の健全育成			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	10	教育費	(項)	5	社会教育費	(目)	7	青少年クリエイティブセンター費
部局名	地域教育部	予算執行所屬	青少年クリエイティブセンター							
予算大事業名	青少年クリエイティブセンター事業									
事業の目的と概要	<p>【施設管理事業】施設や設備の維持管理に係る清掃業務・警備業務・空調設備・エレベーターなどの保守点検業務、備品等の管理修繕、運営審議会の開催、運動広場の維持管理、施設利用者の保険加入、公共料金や消耗品購入、非常勤職員報酬等支出などの施設管理経費に係る経理事務等を行います。</p> <p>【施設運営事業】青少年の学習活動と子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、学習活動の推進(体験活動事業・養成事業・学習支援事業)、交流の推進(利用者交流事業・教室事業・自主活動支援事業)、子育て支援の推進(人権講座・相談事業・子どもすこやか広場事業)、情報の提供(情報収集提供・広報誌の発行)等を行います。</p>									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
施設利用者数	人	75,854	74,571	71,841	青少年クリエイティブセンターの利用人数
主催事業の参加者数	人	11,430	14,218	13,842	主催、共催する事業の参加人数
成果の説明	令和元年度(2019年度)の利用状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年2月21日以降、臨時休館とし、主催事業を中止したため、施設利用者数及び事業参加者数が減少しました。青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることを目的として、青少年の健やかな成長と人権感覚の豊かな青少年の育成等の成果を上げています。活動指標として事業の内容を精査しつつ継続して事業を実施する必要があります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
勘定科目				
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	8	-	△8
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	147	183	165	△17
経常収入 小計(a)	147	191	165	△25
経常費用				
給与関係費	57,363	57,564	57,555	△9
物件費	27,445	27,932	28,189	257
維持補修費	16,857	27,010	810	△26,201
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	4,549	4,456	4,068	△387
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	16,306	16,268	15,852	△416
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,133	3,265	3,294	28
退職手当引当金繰入額	2,915	2,814	798	△2,016
支払利息	9	3	-	△3
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	128,576	139,312	110,566	△28,746
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△128,429	△139,121	△110,401	28,720
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△128,429	△139,121	△110,401	28,720
一般財源充当額	112,993	123,821	96,620	△27,200
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△15,435	△15,300	△13,780	1,520

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	施設管理委託料 21,901千円 需用費(光熱水費等)5,158千円
維持補修費	建物等修繕に係る経費
負担金・補助金・交付金等	報償費 3,861千円 負担金、補助及び交付金 207千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	147	191	165	△25
行政サービス活動支出	112,680	123,584	96,786	△26,799
行政サービス活動収支差額	△112,533	△123,394	△96,620	26,773
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	460	427	-	△427
財務活動収支差額	△460	△427	-	27
収支差額 合計	△112,993	△123,821	△96,620	27,200
一般財源充当額	112,993	123,821	96,620	△27,200
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 諸収入165千円
----------	--------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者1人あたりのコスト	平成29年度	75,824 人	1,695 円	青少年クリエイティブセンターの年間の施設利用者数で算出し、利用者1人あたり1,539円のコストがかかっています。経常費用が減少したため、1人当たりのコストが減少しました。
	平成30年度	74,571 人	1,868 円	
	令和元年度	71,841 人	1,539 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,265	3,294	28
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	3,265	3,294	28
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	5,031,368	5,015,516	△15,852	固定負債	33,236	31,136	△2,100
土地	4,840,217	4,840,217	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	191,151	175,299	△15,852	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	33,236	31,136	△2,100
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	74	74	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	36,501	34,429	△2,072
土地	-	-	-	純資産	4,994,941	4,981,161	△13,780
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
出資金	-	-	-	基金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
基金	-	-	-	その他債権	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	資産の部合計	5,031,443	5,015,590	△15,852
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	5,031,443	5,015,590	△15,852

Ⅲ 財務構造分析

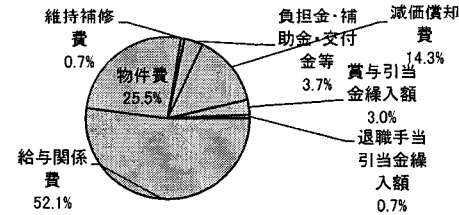
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇員	審議会委員等
	月平均	月平均	月平均	年間従事日数	実人数
	5人	7人			15人
給与関係費等	40,913千円	20,540千円			194千円
内、時間外勤務手当	931千円				
					合計(千円) 61,647

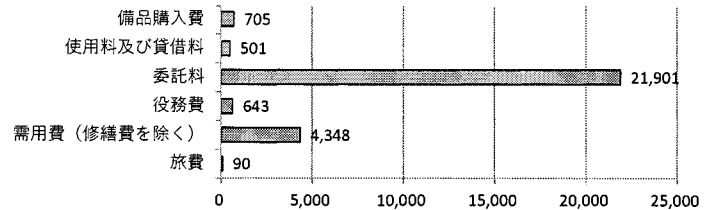
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	建物・工作物の減価償却による減15,852千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	青少年クリエイティブセンター
取得年月日	昭和56年(1981年)4月1日
建物・工作物の取得価額	636,452千円
建物・工作物の減価償却累計額	461,153千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成30年度		差 B-A
		平成29年度	令和元年度	
施設維持補修費比率		2.6	4.2	△1.6
施設老朽化比率		67.5	70.0	2.5
受益者負担比率		-	0.0	0.0
徴収不能引当率		-	-	-
一般財源充当比率		99.9	99.8	0.1
経常費用対公共資産比率		20.2	21.9	1.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

IV 総括

▽分析結果の説明

経常経費の主なものにつきましては、給与関係費57,555千円(52.1%)、物件費28,189千円(25.5%)、減価償却費15,852千円(14.3%)となっています。物件費の主な内訳としては、施設管理事業の委託料が21,901千円(77.7%)、光熱水費が2,977千円(10.6%)を占めています。経常収入の主なものにつきましては、その他の収入として非常勤職員に係る雇用保険本人負担分53千円、事業参加費112千円が内訳です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

青少年クリエイティブセンターは、昭和56年(1981年)に建設されてから38年が経過し、電気、機械、空調設備等の老朽化が進行しています。そのため、平成28年度に空調設備改修工事、平成29年度は屋上防水改修工事、平成30年度は外壁改修工事を実施しました。今後も施設の機能を維持するためには設備の更新、補修等が必要になると見込まれます。利用者が日常的に安全かつ安心して利用できる施設改修を優先的に行ってまいります。また、同センターの事業においても、予算を充てるべき事業、また、経費を削減できる事業を精査し、より効率的な予算配分ができるよう努めてまいります。